

「仮称北区児童相談所等複合施設新築ブロックプラン説明会」

～ご質問・ご要望と回答～

令和5年7月19日

No.	種別	質問等	回答
1	児童相談所等複合施設のハード面等について	自然の木を重視したデザインとなっていますが、建築内部にも木を感じる空間は計画されているのでしょうか。	外壁はメンテナンス性を考慮し、木を使うか木目調アルミパネルにするか検討していますが、エントランスの吹き抜け周りは自然の木を使った温かみのあるデザインを検討しています。
2		迫り出したボリュームのデザインはどのような意図があるのでしょうか。	北側の既存の樹木をいかに南側のエントランス部分に連続させ持ってこられるかを考えました。建物の迫り出し部分の木のファサードと自然の樹木により温かみや安心感のある空間を目指しました。
3		吹き抜け周りの安全性は確保できているのでしょうか。	4階はガラスを天井まで立ち上げ、その他の階は法令で定められている基準を満たす高さまで柵を設けるなど対策を講じています。
4		プレイパークなどの設計上の工夫はありますか。	プレイパークはありませんが親子で休憩できるこもれび広場を設けています。
5		一時保護所の割合が大きすぎるのではないのでしょうか。	時間を区切り教育総合相談センターと共用で利用する面積も含まれています。一時保護所は学齢期男女各8名、幼児4名の合計20名を保護するために、必要な面積を算出し適切な広さと考えています。
6		一時保護所の凶面を隠す理由はあるのでしょうか。	一時保護する子どもの状況は虐待や非行など様々あり、中には保護者の意に反して子どもを保護することもあります。子どもの安全確保を最優先に行うため、凶面を含め非公開とさせていただきます。
7	児童相談所等複合施設の運営面等について	一時保護所の設計についての説明だけでなく、保護された子どもたちが安心して暮らせるようにソフト面のことについても教えてください。	居室の個室化やテレビの設置など子どもが安心して過ごせる環境を整備します。また、職員が子どもたちの声に耳を傾けるのは当然のこととして、さらに第三者であるアドボケイトを導入し、子どもの相談に応じるなど子どもの権利に配慮していきます。
8		区民がだれでも使えるスペースや通学できている近隣の子どもに対する配慮はどのようになっていますか。これからは子どもも自らが相談に来ることを受け入れなければならないと思います。	1階のひろばやカフェスペースは開かれたスペースとしてどなたでも利用可能です。また、乳幼児親子はもちろん、小学校以上の子どもが来所しやすいイベント等の開催を検討しています。2階以上は児童相談所等の専門的な相談機関が入りますが、子どもを含め相談しやすい体制を整えていきます。
9		児童相談所で働く職員に対してケアはできているのでしょうか。	現在、22名の職員を他自治体に派遣し育成しています。定期的に帰庁報告会等を実施し派遣職員の状況確認を行うとともに、派遣先での経験等を踏まえ計画に反映するなど、児童相談所開設に向け共に準備しています。人材の確保育成は大きな課題ですので、今後も職員のケアや人材の確保育成に努めてまいります。
10	その他	児童発達支援センターは、複合施設に移転することのようですが、現在の建物は今後利用される予定はあるのでしょうか。	現時点では、令和8年度の児童発達支援センター移転後の建物の利用予定は決まっていますが、安全性を検証し区で今後の利活用の検討していきます。
11		計画建物と隣接する高層マンション（赤羽台ゲートウェイ計画）との距離はとれているのでしょうか。	建物をなるべく北西側に移動させ調整しており、隣接するタワーとは植栽帯や専用庭、バルコニーにより距離は確保されていると認識しています。
12		計画予定の隣接する高層マンションから見下ろされるが、プライバシーを確保できるのでしょうか。	各階にバルコニーと手すりを設け、奥まった場所に開口を設ける計画としています。カーテンやガラスフィルムを設置など今後も検討していきます。
13		赤羽台ゲートウェイ側に児童相談所への配慮は要望していますか。	隣地事業者とは区長部局のまちづくり部が主となり打ち合わせを実施しており、隣地から児童相談所等複合施設の屋外ひろばへ通じる通路など一体的な利用が可能となるような検討を進めています。
14		南側の公開空地の中でこもれび広場が狭く感じるのではないのでしょうか。	敷地出入口からこもれび広場にかけて連続的な空間になるよう検討していきます。
15		危険な崖地について対策はできているのでしょうか。	土のすきとりは終わっており斜面をなだらかにして安全を担保しました。
16		保守的な建物ではなく地域に開かれた施設にしてほしいです。	地域に開かれた開放的な施設にしていきたいと考えます。
17	赤羽台は「緑」のイメージだと思うので、ぜひ樹木を生かして子どもたちに本物の樹木の美しさを教えてほしいです。今後も課題は出てくると思いますが手立てを講じより良い施設にしてほしいです。	より良い施設となるよう今後も努めてまいります。	